ジャーナルコンサルティング最終報告

公益社団法人　日本食品科学工学会

コンサルティング経過

第1回会議

日時:　平成29年9月17日　14:00～16:00
場所:　JST東京本部別館　2階会議室F
出席者　①JST知的基盤情報部　研究成果情報グループ
②INLEXIO
Dr. Dugald McGlashan, Dr. Caroline Hadley
③日本食品科学工学会
松井利郎(英文誌編集委員長),
川本伸一(学会事務局長), 山形麻衣(事務局員)

第2回会議

日時:　平成30年2月6日　14:00～16:00
場所:　JST東京本部別館　2階会議室A
出席者　①JST知的基盤情報部　研究成果情報グループ
②日本食品科学工学会
松井利郎(英文誌編集委員長),
川本伸一(学会事務局長), 山形麻衣(事務局員)

会議以外は, メールにて直接或いはJSTを介して, INLEXIOと相談

公益社団法人日本食品科学工学会の概要

1. 沿革

①1953（昭和28）年　　：農産加工技術研究会として発足
②1962（昭和37）年　　：日本食品工業学会に会名変更
③1984（昭和53）年　　：社団法人日本食品工業学会
④1994（平成6）年　　：社団法人日本食品科学工学会に会名変更
⑤2013（平成25）年　　：公益社団法人日本食品科学工学会
（公益事業1：学術誌の発行等，公益事業2：学術講演会・ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ開催等）

2. 会員数（2018（平成30）1月末現在）

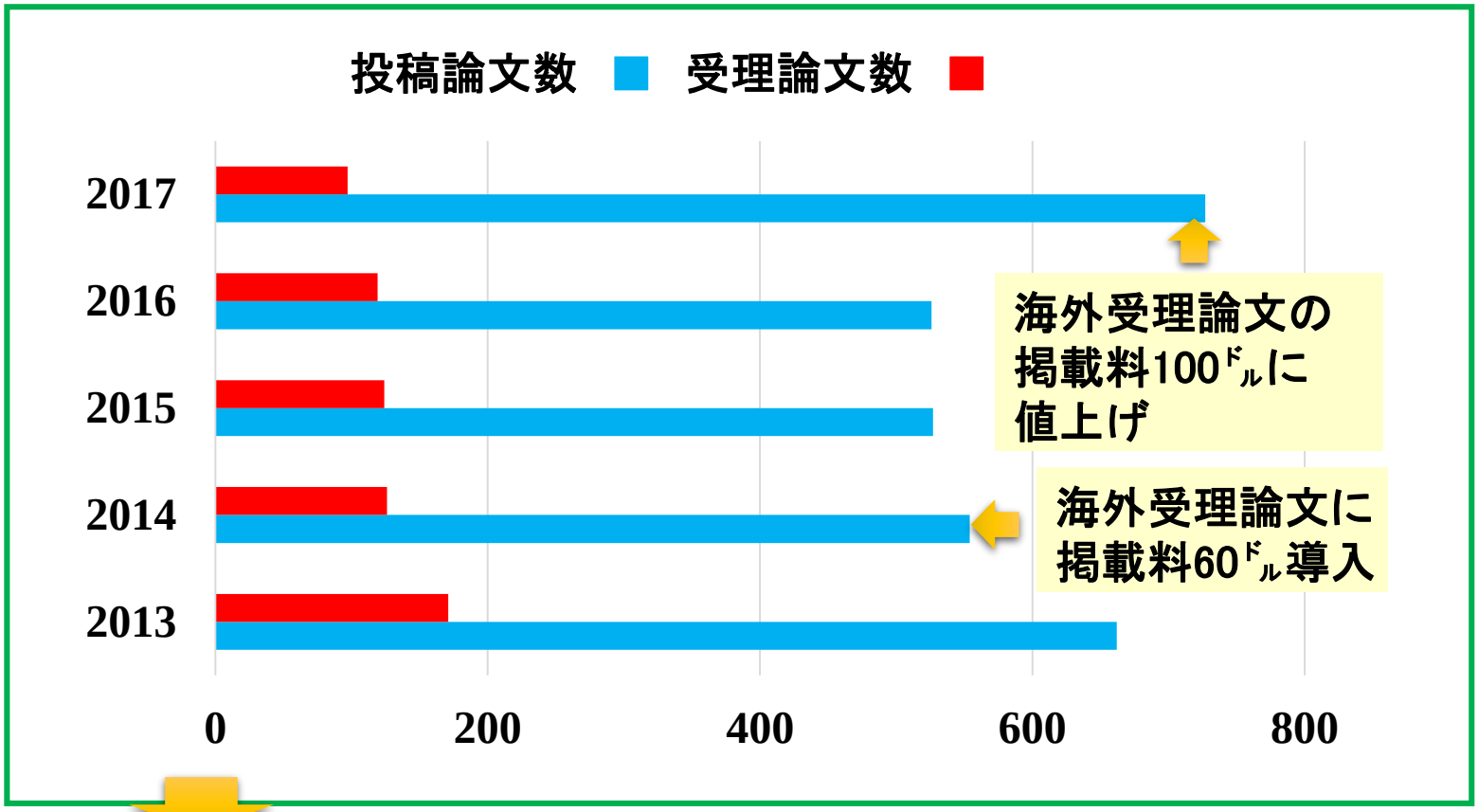
①通常会員　1,968　②名誉会員　3　③海外会員（ｵﾝﾗｲﾝ会員含む）　31
④学生会員（ｵﾝﾗｲﾝ会員含む）　246　⑤賛助会員　182（維持会員42，団体会員139）
合計 2,423　国内で中規模の学会

3. 学術誌の発行（公益事業1）

①日本食品科学工学会誌　　年間12冊発刊（2018年第65巻）　印刷部数2,500/号
・ｵﾝﾗｲﾝ会員を除く会員に無償配付　・論文投稿は，筆頭著者が会員であることが必須

②Food Science and Technology Research (FSTR)　年間6冊発刊（2018年第24巻）
印刷部数430/号　会員は，購読料を割引
・論文投稿は，会員である必要なし　・2013年までは，海外受理論文には，掲載料課金無し（2014年1月に掲載料60ﾄﾞﾙを導入，2017年1月に100ﾄﾞﾙに値上げ）
・国内受理論文の1報当たりの平均掲載料600ﾄﾞﾙ（会員の掲載料割引あり）

英文誌FSTR発行事業の現状①

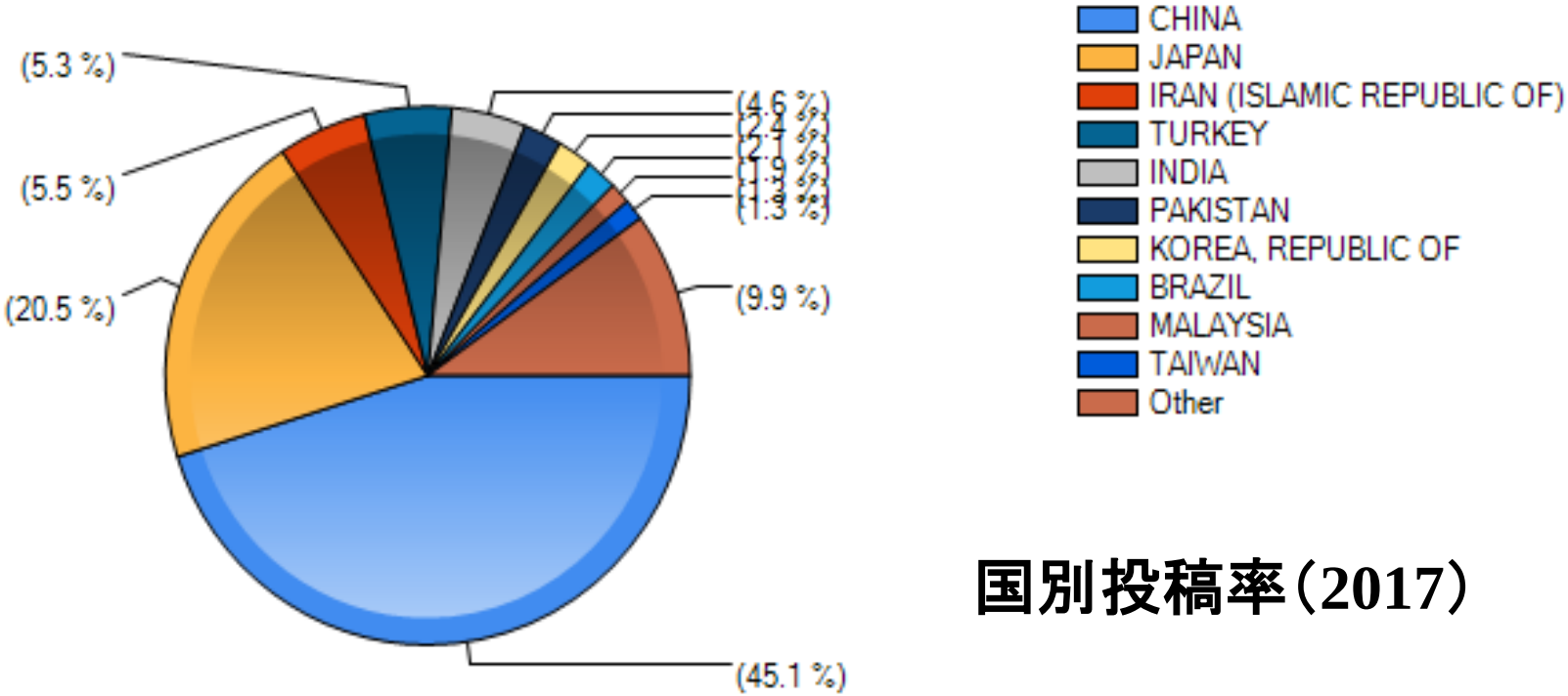


Impact factor	
2016	0.459
2015	0.370
2014	0.345
2013	0.355

・投稿に会員制限なし
・論文掲載料：海外 100ドル
国内平均 600ドル（会員割引あり）

現状は**海外と国内で掲載料に6倍の差**

英文誌FSTR発行事業の現状②



国別投稿率（2017）

- FSTR投稿率は**国内約20%，海外約80%**（2017）
  海外投稿率上位国: 中国（45.1%），イラン（5.5%），トルコ（5.3%），インド（4.6%）

- 投稿論文の採択率：**国内 50%**（国内論文採択総数／国内論文投稿総数）
  海外 7.5%（海外論文採択総数／海外論文投稿総数）

FSTRのImpact factorは，ここ数年着実に上昇しており，国際認知度が上がると共に，今後益々投稿数も増大すると予想

コンサルティングへの参加

1. FSTR発行事業の収支決算は赤字続き.現状は，会費総収入の20%程度と国際情報発信強化のための科研費交付金（2015（平成27）～2019（平成31）年度の5年間）を事業赤字の補填に充てている.
2. 投稿数の増大に伴い，発行事業の赤字は，今後増大傾向であり，科研費交付終了後の2020（平成32）年度以降は学会運営上大きな問題となる.
3. 編集委員会で，2022（平成34）年度を目処にFSTRのJ-STAGEを利用したオンライン化（紙媒体の廃止）を目指すことを決定.

国際ジャーナルのOA化の流れ

一つの選択肢として，FSTRのOAジャーナル化に関するコンサルティング（JST主催）への参加

コンサルティング（Phase I）:APCの試算

学会のFSTR発行事業に関わる2016年度のデータ（会員数･会費･投稿者数･発行事業収支等）をINLEXIO社に提供し，FSTRをOAジャーナルにした際の発行事業を財政的に健全に保つために必要最小限の掲載料（APC）を幾つかのモデルで試算頂いた.

モデルA:完全OAジャーナル化

APC: 1,400ドル

モデルB:完全OAジャーナル事業に会費総収入の20%を補充した場合

APC: 1,000ドル

モデルC: 完全OAジャーナル化するが学会誌印刷も実施（図書館等の冊子体希望者のため）

APC: 1,700ドル

コンサルティング（Phase I）:学会の判断

OAジャーナルに完全移行するには，APCを約1,500ドルに設定する必要

- FSTRの投稿は，海外からが約80%であり，その大半を占めるのが中国，中東諸国である．
- 海外論文の掲載料は100ドルであり，APC 1,500ドル（現在の投稿料の15倍）は，海外投稿者負担が極めて大きく，増加傾向の投稿数が激減することが予想され，リスクが極めて高い．
- 可能性は低いが，OAジャーナル移行して黒字が出た場合は，公益事業1であり，黒字解消のための公益事業計画を所管官庁の内閣府に提出する必要がある．
- 学会員（日本人）に対するメリット感がない．現在の掲載料平均600ドルより2倍強高くなり，APCに学会員割引を導入しても現在より割高となる．
- 現在のFSTRのImpact factorでは，OAジャーナルの魅力に欠ける．

結論として，FSTRの完全OAジャーナル移行は，困難で時期尚早

「ハイブリッドオープンアクセス」（著者は，APCを支払うことによって，標準的な購読型ジャーナルに掲載（最新1年間は，論文を会員限定で公開）しつつ，オープンアクセスで最新論文を公開できる）への移行は，検討の価値あり．

コンサルティング（Phase II）へ

コンサルティング（Phase II）:情報提供

「ハイブリッドオープンアクセス」を導入する上で必要なOAジャーナル用の標準ドキュメントをINLEXIO社から情報提供.

① Open Access: standard text and logos
論文がOAであることを示すために記載すべき文言やライセンス表示についての文書
② Hybrid Open Access Frequently Asked Questions（公開可）
発行機関が著者や読者からの問い合わせ対応用のFAQ
③ Instructions to Authors（公開可）
投稿規定
④ Journal & Ethics Policies（公開可）
倫理に関するガイドライン
⑤ Guide to Reviewers（公開可）
査読者向けガイドライン
⑥ License to Publish
出版ライセンス契約書：著者から学会に著作権のライセンスを供与するための契約書
⑦ Open Access Guide
オープンアクセス化に関する全般のガイドライン（内部利用）
⑧ Journal Development Guide
ジャーナル制作ガイド（内部利用）

FSTRを「ハイブリッドオープンアクセス」にする場合は，現行のものと調整が必要なもの（②，③，⑤，⑥）及び新たに作成しなければならないもの（①，④，⑦，⑧）に分類される.

コンサルティング（Phase II）:問題点抽出

1. 従来型論文コンテンツ掲載料に対するオープンアクセスコンテンツのAPC価格（臨時収入感）の適切な設定（ハイブリッドオープンアクセスの標準的なAPCは，3,000ドル前後．但し，現状のFSTRのImpact factorを考慮すると標準より低い価格設定が妥当）が必要である．
   OAコンテンツの増加に伴う，従来型論文掲載料の見直し方針を作成する必要がある．

2. 「ハイブリッドオープンアクセス」では，業務の流れが影響を受けるため，作業負担が増大する可能性がある．
   従来型とOA型の論文の分類整理・それぞれの出版ライセンス契約書の準備・配付等の効率的な作業手順マニュアルの作成が必要である．

コンサルティング（Phase II）:問題点抽出

3. OAジャーナルに必要なFSTR標準ドキュメント類の作成

① FAQは，既存のものとOA用のものを統合し，独立で公開することが必要.

② 投稿要領も既存のものとOA用を組み合わせた一つのドキュメントを作成するほうが良い.

③ License to Publishの作成において，現行の転載許諾ガイドライン（転載許可申請に関して，学術・準学術・商用の内どれに分類されるかを審査し，準学術及び商用と判定された場合は，課金する）に，影響を少なくする必要がある.

OAジャーナルの著者に提供するクリエイティブ・コモンズ・ライセンスは，CC BY(表示)ライセンスは選択肢に含めず，CC BY-NC-SA（表示-非営利-継承）及びCC BY-NC-ND（表示-非営利-改変禁止)とする方向で検討したい.

しかし，特に海外の多くの資金提供機関がNCライセンスをOAジャーナルとして受け入れないことがあり，今後海外OA希望論文の増加に伴いCC BY問題が発生し，海外からの投稿にFSTRが魅力ないものと受け取られかねない. FSTRの現在及び将来存続に対する再版（およびその他の）収益の重要性と，各ライセンスがその収益にどのように影響を与えるかを慎重に検討し，最終決定する必要がある.

FSTR発行に関する学会の今後の対応

ジャーナルコンサルティングでの意見交換・情報提供により，J-STAGEを活用した「ハイブリッドオープンアクセス」のFSTR導入に向けた，前向きの検討を編集委員会に作業部会を設置し，進めることとした.

なお、OAコンテンツの増加を促進する上でも，FSTRのImpact factorの上昇を維持する努力を行う（ハイブリッドオープンアクセス導入時のImpact factorが1を超えていることが理想）こととした.

謝辞

OAジャーナル化に関する専門的なコンサルティングを受けることをご支援頂きました（国研） 科学技術振興機構に感謝申し上げます.

実際のコンサルティングに際して，コンサルティング会社との調整並びにご助言を頂きましたJST知的基盤情報部 研究成果情報グループの皆様には，大変お世話になり深く感謝申し上げます.

INLEXIO社のDr. Dugald McGlashan及びDr. Caroline Hadleyの丁寧なコンサルティングに感謝申し上げます.